

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	高津区第2グループ(二子・東高津)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績		H28	H29		H28	H29
	1 二子こども文化センター ①年間延べ利用者数	30,547人	33,581人	②年間延べ利用団体数	269団体	294団体
収入実績	2 坂戸小学校わくわくプラザ ①登録者数	284人	311人	②年間延べ利用者数	17,023人	21,151人
	3 久本小学校わくわくプラザ ①登録者数	494人	497人	②年間延べ利用者数	28,280人	31,761人
サービス向上の取組	1 東高津こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,066人	30,106人	②年間延べ利用団体数	377団体	362団体
	2 東高津小学校わくわくプラザ ①登録者数	489人	502人	②年間延べ利用者数	31,113人	33,386人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 100,518,808 2 支出 人件費 87,645,549 管理費 6,213,625 事務経費 6,366,632 その他経費 5,028,285 合計 105,254,091 3 差引 -4,735,283					
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・グループ合同事業として、川崎市河川愛護ボランティア制度認定団体「二ヶ領用水ウォッチングフォーラム」と連携し、「二ヶ領用水クリーン大作戦」を実施した。大学生から高齢者までのボランティアと子どもたちが協力し、ごみ拾い等の清掃活動や親睦タイムを通して、地域交流が図られた。 ・東高津こども文化センターでは、今年度新たに「にまるくさんと夏のコンサート」を実施した。パーカッションアンサンブル「にまるく」にコンサートを依頼し、演奏の合間には東高津中美術部生徒の指導で、幼児親子・小学生がタンバリンを製作し、一緒に演奏するなど、異年齢交流の場を提供した。また、二子こども文化センターでは、新規事業として、東高津中卓球部との連携により、小学生と中学生を対象とした卓球大会を実施し、卓球の指導を通じた異年齢交流を図った。 ・坂戸小学校わくわくプラザでは、実際の選挙さながらに演説や不在者投票等を行う「子どもリーダー選挙」を実施し、日々の活動の中心を担う子どもリーダーを選出している。子どもリーダーが積極的に声をかけ、率先して活動していくことで、自主性等が育まれ、児童の健全育成に寄与している。 ・こうした取組の結果、全体の利用者数が、昨年度と比較し、約1100人増加した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、購入図書や集会所のルール変更意見に反映している。特に、東高津こども文化センターでは、新たな取組として、乳幼児室に意見を掲示するコーナーを設置し、意見の可視化に努めた。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、支援級担当教諭や保護者等と密に情報共有を図るとともに、巡回相談員による「特別な支援を必要とする児童との対応研修」に参加し、職員の実質向上に努めている。特に、坂戸小学校わくわくプラザでは、研修内容を参考に、自閉傾向のある利用児童に、一日の流れを絵付きの紙に示して見せたところ、行動に落ち着きが見られた。 ・東高津こども文化センターでは、発達障害者不登校傾向のある中学生への対応において、学校や保護者と密に連携を取りながら、館長や職員が長期間にわたり丁寧に寄り添うことで、本人もこども文化センターに愛着を持つようになり、居場所として一定の機能を果たしていることは、特筆に値する。 ・学校及び行政機関との連携について、小学校や中学校、老人いこいの家等、地域主体と密接に連携し、取組がなされている。特に、東高津こども文化センター及び管轄わくわくプラザでは、新たにヤマト運輸株式会社と連携し、交通安全教室を実施し、交通ルールやトラック運転席に座り、死角や危険について学ぶことが出来た。 ・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、新たな取組として、乳幼児保護者に向けたより「いちごつつしん」を諏訪幼稚園・まんまる保育園に配布するとともに、東高津中学校に中学生向けのたよりを年2回配布している。 ・保護者懇談会の実施について、新学期や長期休業等の時期に、保護者懇談会を年3回実施した。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有化する仕組み作りが出来ている。特に、グループ研修として「野外活動研修」を実施し、職員全員が、危険箇所について共通認識を持つことで、「ウイレッジキャンプ」2017を安全に実施した。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実は無かった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に、東高津こども文化センターでは、テラスに屋上ネットを設置することにより、バスケットボール遊びが出来るようにし、市民サービス向上に繋がった。 利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、実際のヒヤリ事例については共有ノートを使って施設内の全スタッフで共有した。また、グループ研修として、感染症予防研修を実施しており、研修を通じて職員の意識付けを行っている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、いこいの家、地域子育て支援センターや小学校と避難訓練を実施し、避難方法を確認している。さらに、小学校主催の地域安全連絡会に参加し、町会・警察・学校等の関係者と地域の不審者情報などの情報共有を行っている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<ul style="list-style-type: none"> 金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>指定管理者制度導入以前の管理委託時代から、こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を行っていた長年の経験を活かし、法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や様々な職員研修が体系的に実施されており、それらの取組により、良質かつ均質なサービスの提供が行われている。</p> <p>各館においても、東高津こども文化センターでは、乳幼児保護者からの意見を集めるため、新たに乳幼児専用の意見掲示板を開設したり、二子こども文化センターでは、乳幼児親子や小学生向けの工作イベント「ニコニコ子どもチャレンジ部」を、家庭で出る廃材を活用して費用がかからないように配慮するなど、きめ細かな創意工夫が行われている。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもも顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。</p>
